

# 東はりま甲南会報

第24号

発行  
東播磨甲南会

[事務局]

〒675-0017  
加古川市野口町  
良野365-11

行政書士澤本事務所  
澤本武司 気付

TEL 079-421-1747  
FAX 079-439-2842  
E-mail  
sawamoto@gyosei.or.jp

**コロナに負けるな!!**  
力を合わせて、この難局を  
乗りきりましょう!

こちらのQRコードから  
東播磨甲南会のHPが  
ご覧頂けます



東播磨甲南会

会長 三宅 隆宏

有限会社協立サービス  
取締役会長  
(経営学部 昭和41年卒)

去年はコロナの影響で、当会始まって以来総会を行えないという事態に陥った。地震も頻繁に発生人生100才時代に突入した今何が起るか見当もつかない。

昨年9月からYouTubeを始めた。何が起るかわからない♪

こんな元気な年寄りもいるんや、と家に閉じ籠る同年代の人たちが少しでも元気に活躍されることを望んでのこと。

日々日中はYouTubeの題材探して取材に走り回り、朝は4時に起床、その編集に取り組んでいる。

母校も大変な困難に直面していると推測致します。敬愛する長坂理事長も、甲南学園の為全力で取り組んでおられることと思います。ご自愛賜りますますご活躍を祈願致します。

昨年2月、毎年協力させていただいている加古川「知」を結ぶプロジェクトも5回目。このコロナ禍のもと、加古川市×甲南大学を結ぶテレビ会議が実現された。これは15年前では考えられなかった。次の15年では、また別の不可能が可能になるのだろうか。その時は甲南大学は長坂理事長体制のもと全国優秀校として十指に入る大学になっている?

母校は先日100周年になったが、東播磨甲南会も母校を支えこの困難を乗り越え共に歩んでいきたい。今期は十分なコロナ対策をして総会もゴルフも開催します。皆様、ぜひ奮ってご参加ください。



注) YouTube "TRY" タカヒロ77才目指せ100才  
健康寿命"で探して下さい



学校法人甲南学園  
理事長 長坂 悦敬

東播磨甲南会の皆様には、卒業生相互の親睦活動、甲南学園および学生・生徒へのご支援など、日頃より大変お世話になっておりますこと、心より御礼申し上げます。1919年、平生鈺三郎によって甲南学園が創立されて以来、甲南ファミリーのネットワークは拡大の一途を辿っており、本学を支える基盤となっております。

さて2020年度は新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界の様相が一変しました。甲南大学でも前期においては授業の大半が「Webを活用した授業」にて行われ、クラブやサークル活動なども制限されるこ

ととなりました。しかし一方で後期からは感染症拡大防止策を徹底し、学生の皆さんにもキャンパス内の多くの場面で協力を得ることで対面を基本とした授業を実施することができました。

また2020年12月には「加古川「知」を結ぶプロジェクト」の成果報告会を、東播磨甲南会の皆様にご尽力いただき、加古川市長にもご参加のうえ、オンラインで開催することができました。ご協力に対し重ねて御礼申し上げます。

甲南学園は今できる学びを考え、状況の変化に柔軟かつ慎重に対応しながら、さらに輝きを増しつつ、皆様と「つながる学園」になれるよう進んでいきたいと思っております。これからもご指導ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

最後に、東播磨甲南会のみならずのご発展を心より折返し、引き続き今までと変わらぬご支援をお願い申し上げます。

甲南大学 同窓会

会長 丹羽 一郎

内外電機株式会社  
代表取締役社長

東播磨甲南会の会員の皆様、平素は大学同窓会の活動に多大なるご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大に全世界が見舞われ多くの尊い命が奪われ、同窓会もリアルでの催しは全く開催できないという設立以来、経験のない事態となりました。コロナ禍の今「いのちを守る」「こ

れからの暮らしを考える」機会にと、甲南学園創立者・平生鈺三郎先生の遺訓「常二備へヨ」をテーマに、初めての試みとして10月25日に「オール甲南の集い」ONLINE「LINEV2020」を、オンラインで開催致しました。

当日のライブ配信時間には約5,500件のアクセスがあったほか、ホームページには終日約8,600件のアクセスがあり多くの同窓生に参加頂きました。

2021年、甲南大学は開学70周年の節目を迎えます。今年度甲南大学同窓会は「時こう！変革の種子!!」をテーマに、変革元年と位置付け、どのような社会情勢になっても平生鈺三郎先生の訓えを胸に、同窓生の絆を深め、苦難の時代を乗り越えていく決意を新たにしたいと思っております。

今までの常識が次々に書き換えられていく中で、小さな変革の歩み一つずつ積み重ね、輝かしい未来へと繋げていけるよう模索を続け、母校と同窓会員相互の発展に寄与していける活動を目指します。

東播磨甲南会の会員の皆様が、これまで通り三宅会長を中心にご力を合わせ、より貴会が発展されることを祈念申し上げます。

## 2021年総会・講演会の開催について

日時 ● 令和3年6月5日(土)  
場所 ● 東播磨県民局「かこむ」  
1階 講座研修室  
(加古川町寺家町天神木 97-1)

総会 ● 午後5時～  
講演会 ● 午後5時30分～  
講師 学校法人甲南学園理事長 長坂悦敬  
テーマ 『同窓生に期待すること』

参加費 ● 無料

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、飲食を伴う懇親会の予定はありません。  
※ 会場入室時には、マスクの着用及び手指消毒にご協力をお願いいたします。

# 加古川「知」を結ぶプロジェクト 行政×大学×地元メディアによる 地域の課題解決

令和2年12月6日(日)、加古川市役所新館にて加古川「知」を結ぶプロジェクト「行政・大学・地元メディアによる地域の課題解決」の成果報告会が開催された。

## 【3日の様子・参加者】

本年度で5回目となる加古川「知」を結ぶプロジェクトは、新型コロナウイルス感染症の影響で開催そのものが危ぶまれたが、関係各所のご尽力により今年も開催が実現した。今回は一般参加無し、授賞式や懇親会も無く、最小限の人数かつ市役所と大学をオンラインで繋ぐことで、感染のリスクを限界まで抑えた形式で開催された。



参加チームは学内選抜岡村チーム、経営学部望月チーム、マネジメント創造学部金坂チーム、知能情報学部佐藤チームの4チーム。  
コロナの影響で市内の企業へ訪問できず連携することが難しかったため、全チーム加古川市様のご協力のもと提案を行った。

## 【発表内容】

岡村チームは、「ボランティア学習を通じた小学

生のシテイズンシップ教育「アフターコロナの地域にかかわる人材育成の提案」を提案した。ボランティアへの積極的な参加により若者の自己効能感を高めることで、NPO法人やボランティア活動の認知度を高め、ひいては市民の能動的な社会参加の気運を高めようという内容であった。

望月チームは、「ミズベリングの聖地」加古川の実現にむけて」を提案した。ミズベリングとは、水辺の空間を活用するための新しい可能性を考えるもので、地域のソーシャルデザインの1つである。一級河川加古川を最大限活用し、ルミナリエの神戸、魚棚の明石、姫路城の姫路など、各都市が有するコアとして機能するブランドイメージを

加古川にも獲得させようというものだった。講評では、加古川市でも実は水辺の有効活用を考えており、この提案があったことに驚いた。大きな商業地に魅力では勝てないので、加古川ならではの空間を作るといっては凄く良い所に目を付けた。ぜひ参考にさせていただくという意見があった。

金坂チームは、「WITH コロナから考えるイベントの提案及びSNSを利用した観光資源の創出」を提案した。これは三密を回避しつつ大画面で映画を見ることが出来るドライブインシアターと、SNS上でインフルエンサーを起用し加古川市の観光資源を創出し、認知度を向上させるという提案だった。コロナ下でも可能な思い出作りの場の提供にスポットをあてている。

講評では、加古川にインフルエンサーの紹介で伸びるものは何かあるかという質問があり、学生チームからコスモス畑が凄く綺麗なのにあまり知られていないという返答があった。学生ならではの意見でぜひ活かしていきたいと評価された。

の意見でぜひ活かしていきたいと評価された。岳チームは、「防災機能を備えた「加古川スマート観光サポーターシステム」による安全で安心な加古川市の観光振興」を提案した。知能情報学部ということで、例年と同じく実際に動くシステムの提案であった。地図上で災害、防災情報、避難所や避難経路のリアルタイム情報が受け取れる他、英語での表記にも対応していた。

講評では、専門性があり、いつもいい意味でマニアックな提案をいただけるので非常に面白い。防災情報は住民の関心が非常に高く、ご提案いただいた内容を元に改めて考えたいという意見があった。

成果報告会は例年2月ごろに行われるが、コロナの影響でプロジェクトのスタートが遅く、終了も早い短縮日程だったため、どうなることかとハラハラしながら当日を迎えたが、学生達は良い意味で期待を裏切ってくれた。

全体を通して発表内容は見事であり、当会会長の三宅より、コロナでインタビューがやりづらい中、よく頑張ったというコメントをもってつつがなく閉会した。



## 【今後の課題】

今回は懇親会や東播磨甲南会賞の授与が無く、同窓会としての協力がかなり限定的となった。これからのWITH コロナ時代を考えた時、当会がどう協力していけるのか、今後の大きな課題として考えていきたい。

## 長坂新理事長と対談

令和2年9月3日、長坂新理事長と本会会長の三宅、及び一部の役員により、加古川「知」を結ぶプロジェクトの今後に関する対談を行った。同プロジェクトは内外より非常に高い評価を得ており、今後どのように発展させていくか、本会はどのように協力を進めていくべきかについて意見を交わした。本会では現在、コロナ時代であること踏まえ、ホームページ上で特集記事を製作するなどでの協力を考えている。今後の更なる発展、交流の深化が楽しみである。

# 会員企業紹介

## スマートな まちづくりを

企業訪問第9回目の今回は、野口町良野にレストランのような外観で中は山小屋風のしやれた事務所の不動産業、アートヒル殖産株式会社の横山正人さんにお話を伺いました。



卒業年度と学部を  
教えてください。

53年経営学部卒業です。当時は夙川の苦楽園口に下宿していて、そこから通っていました。

アートヒル殖産株式会社の  
成り立ちについて教えてください。

会社は平成15年の12月創業で、稼働し出したのが16年の1月でした。卒業してからは野村系の証券マンだったんです。パブルが弾けたあたりで、こりゃいかんと思って証券を辞めました。それから加古川市内の不動産会社に勤めるようになったのですが、元々野村イズムが凄かったところからの転職なので、労働時間が短くなり、業界が異なるとこんなに変わるのかと驚いた覚えがあります。その後は野口町良野に3階建ての家を建て、1階を事務所にする形で独立しました。それが会社の始まりです。

仕事場として東播磨地域を選ばれた理由がありますか。

たつの出身でもともと姫路に住んでいたのですが、妻が加古川出身だったんです。転勤族で家を持っていなかったのと加古川の不動産会社に勤めていたので、マンションをこちらで買い、加古川に移ってきました。その後自宅兼事務所も加古川で建て、それがアートヒルになりました。不動産業は人との繋がりが重要ですので、それからずっ

と東播磨でやっています。

会社の事業内容について教えてください。

土地の開発造成、所謂「まちづくり」をやっています。許認可の要る仕事なので、行政との仕事も多いです。古い区画は車が入りづらいということがあって、その影響で最近空き家が増えてきているのですが、町内会の方々と相談しながら空き家を除去して道を広げたり、地元の人に住みやすいと喜ばれる街を作ることを目指しています。サラーマン時代とは異なり、自分の思いを具現化していけるというのは自営業の醍醐味ですね。実は同じ業界のヴェル・ハウジングは弟でして、兄弟で上手く連携して仕事しています。「まちづくり」は色々な方々との連携が重要であり、難しいですがやりがいのある仕事です。

趣味で「ジャズダンス」をされていると伺ったのですが、きっかけは何ですか。

元々好きだったのですが、サラリーマン時代は制限を受けますし傍目を気にするストレスもあってできなかったんです。自営業者になってからはそういうものが無くなったので、46歳ぐらいから始めました。エアロビもやっていますし、これから歳をとったら社交ダンスも考えています。デイスクパーティーも好きで、よく参加しています。

東播磨甲南会については  
どういう感想をお持ちですか。  
また、活動に対して要望などはありますか。

甲南生は加古川市に沢山いるのですが、横の連

携がどうも弱い気がしています。ある程度会費を払ってでも活発に情報交換をやってほしいかと思っています。近未来の社会情勢を議論するとか、そういうことに興味があります。そういえば、加古川「知」を結ぶプロジェクトは学生が主役であり、とてもいい試みだと思っています。甲南生として語り合える場でもあるので、このような場が増えるほど良いと思います。

今後の抱負について教えてください。

1つはやはり「まちづくり」で、防災や住んでいる人々の利便性などを考えながら、防災面も問題無い、住みやすい街をデザインしていきたいです。

もう1つは少子化に伴う空き家問題です。こちらは企業、産業を呼んでくれるような働ける場所を作っていけば加古川の人口も増えると思っています。ですが、中々難しい問題ですね。

最近特に兵庫県の人口流出が激しく、1位が神戸、続いて加古川というように人が流出してしまっています。アクセスの立地を活かし、物流や工業団地の誘致を含めて住みやすい街にすることが急務ですね。

会社のPRをお願いします。

社会は、IT技術の発展、地球温暖化防止CO2削減・排出量0を目指し、進んでいます。地球環境に優しい、全世代が暮らしやすい社会（医療のオンライン化）の実現です。時代のニーズを理解し、今後を見据えた暮らしやすい街づくり、企業誘致を推進することを企業理念とし事業を推進していきます。

本日はありがとうございました。

アートヒル殖産株式  
会社のHPはこちらから  
ご覧いただけます。



<https://athill.co.jp/>

# オール甲南の集い

<ONLINE>  
2020

10月25日、オール甲南の集い「ONLINE」V2020が開催された。新型コロナウイルス感染症の影響で初のオンライン開催となったが、オンラインだからこそということもあり、世界甲南会はいつもよりも盛り上がった。シドニー、シンガポール、インドネシア、テキサスも参加し、総勢28甲南会がオンラインで集結した。

海外の甲南会代表の皆様から現地の声の何うと、やはりコロナウイルスの影響で国境を超えるのが難しくなっており、国外活動の難しさが強く現れているように感じた。

続いての基調講演では保田真理さんによる津波の解説があり、通常の波とは全く違う威力に驚いた。水の上には浮かんでいる実験用の木片が、揺らされるのでは無く、文字通り「飛んでくる」のは迫力満天だった。災害には心から気を付けたい。

最後はシンガー・ソングライターの八神純子さんのライブで締めとなった。

オンラインで参加して分かったが、良い面も悪い面も両方ある。良い面はやはり距離が関係無い点。何処にお住まいの方でも繋がれる。悪い面は、やはり「空気感」や「熱量」が直接得にくいことだと思う。とはいえ、良い面のメリットは非常に大きいので、普段の甲南会でも遠隔地とオンラインで繋がってみても良いのでは無いだろうか。海外とのオンライン通話は非常に良かったと思う。



## 東播磨甲南会 役員組織 (R2~R4年度)

顧問	渡邊 東(S40経済)	<総務委員会>
会長	三宅 隆宏(S41経営)	委員長 岩崎 泰央(S62法)
副会長	大庫 良一(S54経済)※筆頭 中尾 知也(S50法)※総務担当 大庫 俊介(S46文)※地区担当 松本 浩一(S49文)※広報担当	副委員長 藤原 武彦(S60経営)
幹事長	栗山 隆博(S62文)	<地区委員会>
会計	榎谷 有美(H3経営)	委員長 井奥 貴子(H3経営)
監事	西尾 淳(S39経営) 籠谷 紘義(S40経営)	副委員長 丹後 昌博(S54法) 津田 裕昭(H20法)
同窓会 本部理事	富居 雅人(S62文)	<広報委員会>
事務局長	澤本 武司(H6理)	委員長 新濱 義孝(S62理)
		副委員長 富居 雅人(S62文) 森 正英(H26FS)

## 入会のご案内

- 目的…甲南大学同窓会の東播磨支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与することを目的とする。
- 入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。
- 入会金…終身会費1万円(初回のみ)
- 入会方法…総会時受付で申し出て頂くか、直接事務局へ。
- その他のご負担…総会・行事毎に参加者からその都度会費(実費)をいただきます。

### ■事務局

〒675-0017

加古川市野口町良野365-11

行政書士澤本事務所 澤本武司 気付



TEL 079-421-1747

FAX 079-439-2842

E-mail sawamoto@gypsei.or.jp

### 編集後記

本年度は100年に1度とも言われる感染症のパンデミックが発生し、様々な事柄に甚大な影響を及ぼした。

同窓会活動もリモートが主体となり、大きく変わった1年だったと思う。甲南学園がついこの間100周年であったということを考えると、甲南生としては初めての試練となる。甲南の絆で、これを乗り越えられることを願うばかりである。(M.M)